

(別冊)

參考資料

01 福井県DXの考え方

県 基本理念

「安心のふくい」を未来につなぎ、もっと挑戦！もっとおもしろく！

福井県DX 定義

県民本位の地域社会（生活・産業・行政）**実現のため、**
デジタル技術の特質を上手に活用の上、**県民目線**で、政策や実行の**仕組みを再設計**
（地域課題の解決や新たな価値創造につなげていく）

目指す将来像 （ビジョン）

地域社会・経済を活性化し、福井県の将来を持続可能に

- 外に開いて人を呼び込む、都市部至近の豊かで安心安全な「暮らしの先進地」
- 人口減に対応する生産性の高いスマートな社会
- 県民一人ひとりのアクションにDXを取り入れ、誰もが挑戦

行動規範 （DX推進の3本柱）

みずから変える **みんなで変える** **ふくいを変える**

合言葉

リアルな空間での取組を「**データ×AI×機械化**」しよう

政策集

（福井県DXプログラム）

生活・産業・行政の3分野により、全庁を挙げた取組を整理
（DX事業の機動的な拡充に合わせ、プログラムを随時更新）

02 ビジョン

福井県の将来を持続可能なものとするため 「DX = 即効性が高い手段」を早期に活用

即効性が高い手段

生活のDX

利便性・魅力向上

(質的向上・広く発信)

豊かな生活環境
+
先進的取組・交通網整備

人の呼び込み・定着
観光等交流人口増

産業のDX

生産性向上

(人手不足対応・収益性改善)

投資+賃金・待遇向上
(雇用確保・UIターン増・やりがい)

産業創出
サービス高度化

行政のDX

県民の生産性確保

(手間負担軽減・リソース確保)

民間の取組支援
(データ連携・参画機会確保)

県民・企業が
挑戦できる場を提供

地域社会・経済を活性化し、福井県の将来を持続可能に

しあわせ先進モデル 活力人口100万人ふくい

03 行動規範

3つの考え方を軸にDXを推進

(県庁自ら推進・チームふくいを支援・地方DXの最先端を目指す)

- **DXありき**
で意識的に実務変革
- **利用者目線**
で再構築
- **デジタルファースト**
でまずはやってみる文化



- **チームふくい**
との連携推進
- **誰一人取り残され
ない**環境整備



- **地域課題解決の最先端**
- **徹底現場主義**での課題解決

04 DX推進に向けた合言葉

リアルな現実社会での取組を 「データ×AI×機械化」しよう

データ化

時間場所制約なく実務遂行
あらゆる状況やニーズ**可視化**

遠方の患者の容体を確認
県道の積雪状況を今すぐ把握

AI化

即時の**分析・予測**
パーソナライズした提案

理解レベルに応じた教材提供
関心興味に応じた観光商材開発

機械化

人手を介さず、
データや機械が**自動処理**

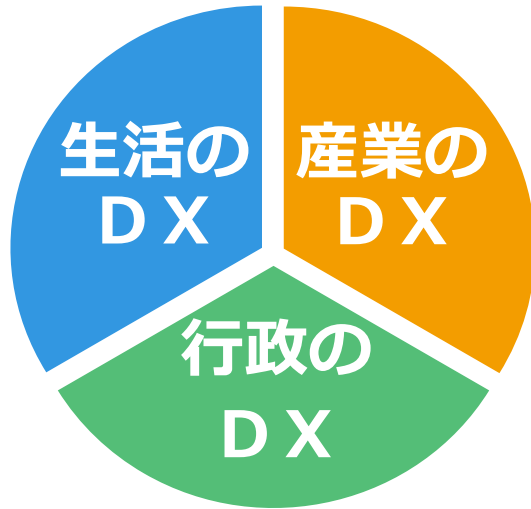
24時間365日の申請受付
リモートでの避難指示発出

05 政策集 (福井県DXプログラム)

推進の
考え方・方向性

福井県DXの定義・ビジョン・行動規範
推進体制・今後の取組み方向性・具体的政策

+



生活

県民生活の質向上

産業

県内産業の生産性向上・高付加価値化

行政

デジタル行政の実現

随時、機動的に見直し
(アジャイル型)

R3

R4

当初
(+15)
期末

47
▼
62

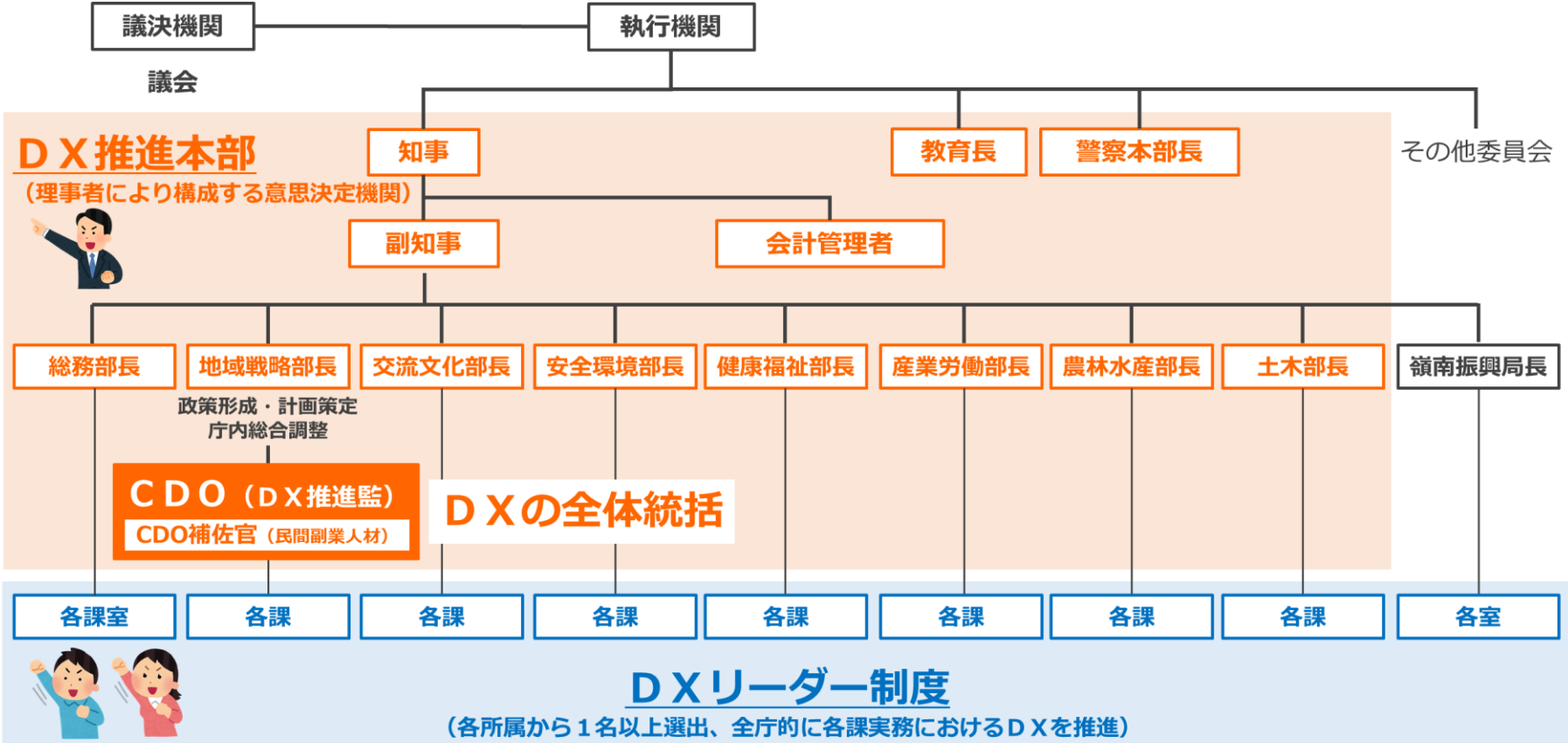


73 事業

06 推進体制

全庁横串を通じた推進体制

(司令塔の配置、トップダウン・ボトムアップ・自走仕組み化)



DXリーダー制度

(各所属から1名以上選出、全庁的に各課実務におけるDXを推進)

情報システム整備 (相談受付体制・事例共有・取組可視化・相互賞賛の仕組み)

07 自走する仕組み

Teams

(庁内連携プラットフォーム)



「DX相談受付機能・掲示板」を準備
(先行者や有識者による助言：1,000名超登録)

- セミナー情報・スキルアップ情報
- よろず相談・RPA相談・DXやってみた情報
- 外部事業者連携 等

イントラネット

(DX推進のひろば)



職員の実践事例・前向きな取組を公開
(全庁的進捗も可視化)

- 取組み共有 (他人真似の実践もOK)
- みんなで称賛・質問回答 (幹部職員も閲覧)
- モチベーション向上・自分事化 (更なる実践)

08 働き方改革ルール

若手職員中心の働き方改革PT（Life Style Shift）がデジタルツールを活用した「業務共通ルール」を作成

- 1 意思決定は、「早く決め、早く実行」
（実行が大切。そして、実行した結果から学ぶ）
- 2 予定管理は、共通アプリで
（いつでも、どこでも、誰でも「見える化」）
- 3 連絡は、電話よりも文字・映像で
（電話は減らす。電話は相手や取り次ぐ人の時間を奪う）
- 4 庁内照会の発注・集計は、より手軽に
（庁内の取りまとめ作業に時間をかけない）
- 5 庁内のルールは、みんなで共有
（庁内通知、各種規程等の検索に時間をかけない）



- 会議資料はTeamsで事前共有
- 出先機関とは原則オンライン会議
- Outlookによる進捗管理・共有
- 会議録も同時作成・システム利用
- 連絡はTeams（電話 < チャット・映像）
- 集計作業はTeamsやFormsを活用
- 全庁通知はSharePoint掲示板を活用

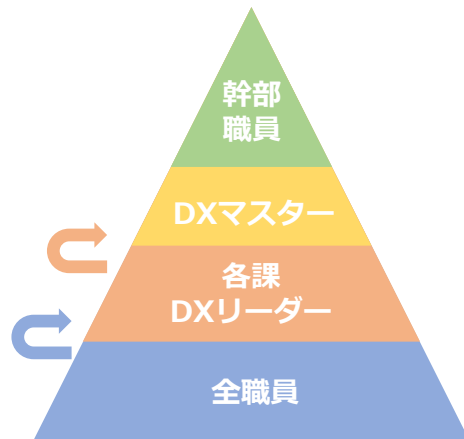


09 人材育成（研修体系整備）

DXありきの業務遂行に向けて、 階層別研修プログラムを準備（座学・ハンズオン・伴走）

研修体系の設計・実施

- CDOによる**階層別研修**
- **全職員対象**のオンライン研修



実践型研修／伴走型実践

- 全庁的な業務改善策として、実践型研修を実施
R3年度：**RPAキャンプ**（57所属80名参加）
▶ 約1万時間の業務時間削減効果 → 庁内相談も増加
R4年度：**RPAキャンプ**（26所属40名参加）
Kintoneキャンプ（20所属39業務内製化）
電子申請キャンプ（60所属85名参加）
- **未来戦略アドバイザー**（外部デジタル専門人材）や、**協定事業者**（マイクロソフト・NTTドコモ等）が、データ分析やシステム内製化、DX事業の検討等を伴走

10 外部デジタル専門人材との伴走

外部の専門人材を委嘱 スキルの底上げ・伴走支援体制を整備

データサイエンティスト



寺岡 亮 氏



佐々木 健太 氏

行政実務におけるデータ収集・分析

(観光支援・経済調査・コロナ感染分析・デジタルマーケティング等)

CDO補佐官



岡島 幸男 氏



狩野 英司 氏

- DX人材育成
- DXによる業務見直し・システム内製化
- 県民向けサービス・シビックテック推進 等

11 制度設計

デジタルシフトを後押しする予算方針とサービス方針

県予算編成方針（R4当初）

県財政課

令和4年度当初予算編成方針

1 長期ビジョンに基づく県政推進

2 DX推進による

ポストコロナの社会づくり

3 国の予算編成への的確な対応と徹底した行財政改革の実行

- DX推進事業（ハード構築事業）は**要求基準外**
- 積極的に事業化を検討、予算要求を行うこと
- **重点政策枠**新設（シーリング経費削減額の倍額要求可）

庁内業務のペーパーレス化

県人事課

庁内業務のペーパーレス化について

各所属において、**業務のペーパーレス化を進めてください。**

2 具体的な取組み

(1) ヒアリングや打合せ等のペーパーレス化〔令和4年1月から実施〕

<知事年頭訓示>

- 県庁業務のペーパーレス化を**徹底的に進める**
- ペーパーレスを徹底し、**行政ノンストップ化、働き方改革**も進める

12 デジタルの取組①

「県民目線・生活密着型」で課題解決

大雪対策DX（全国初）

安心安全確保のための除雪状況等可視化



- アクセス数が、昨年比約3倍* *同程度の降雪量時期比較
- 県民から多くの感謝の声（こういうものが欲しかった）

交通安全対策DX（SCX）

隠れた危険エリア見える化



リアルな運転挙動
データ取得・分析

地域の学校や企業等、36団体454名協力



- 学校長からも歓迎（安全マップ）
- 小中学校において、安全対策・情報教育で活用
- 県警において、交通安全対策へ利活用（EBPM）

13 デジタルの取組②

「県民目線・県民ニーズ」により再デザイン

わかりやすい情報発信

HP解析による県民ニーズに即した情報発信



- 8割超の方が、改善後ページでの情報入手が容易と評価
- 県の訴求したい情報（注目情報）に、約10倍のアクセス

政策検討への県民参加

ご意見を傾聴する意見交換の場を実証運用



- 83の県民提案を受領、うち4件即改善・6件を対応検討
- 今後、民間団体との運営・ハッカソンでの改善を予定

14 デジタルの取組③

「県民参加型」で取組み

シビックテック

現場首長・関係者・Code for Fukui等と協働

「自治会活性化」ハッカソン 福井市共催（殿下地区）



- スマホでなくテレビを用いた、情報連絡・状況確認サービスを即日開発
- 共催の福井市が、継続的に地域住民と意見交換を重ね、出前講座や自治会活動DXに取組み

限界集落への物流DX

ドローン+陸送のハイブリッド型物流実証

敦賀市愛発地区 ドローン物流



- 敦賀市では、今年度中の実装を予定
- 県内他市町における活用可能性について検討中

15 デジタルの取組④

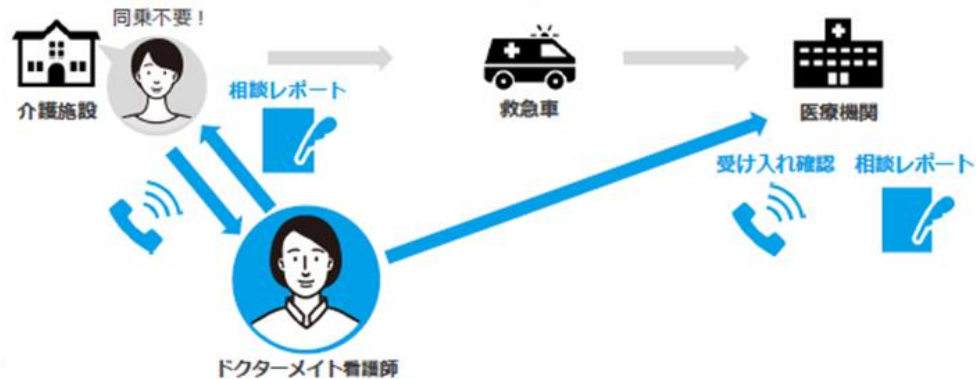
「民間・スタートアップ等 外部パートナー」と協業

未来技術活用PJ（6件）

民間スタートアップ等協業による地域課題解決



介護施設向け夜間オンコール医療相談
(勝山消防・総合病院・介護施設)



- 夜勤介護士の同乗を要する「とりあえず搬送」が▲9割
- 消防・病院との情報共有により、救急搬送時間も短縮

コロナ対策DX（福井モデル）

オペレーション自動化・オンライン診療等

福井県 職域ワクチン接種予約受付			
あわら市		勝山市	
坂井市	福井市	永平町	池田町
越前町	越前市	越前町	南越前町
高浜町	若狭町	美浜町	敦賀市

福井県 職域ワクチン接種予約受付											
接種予約状況可視化											
接種予約システム (ローコード内製)											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

ワクチン
接種予約状況可視化
接種予約システム
(ローコード内製)



TV電話等活用の健康観察
オンライン診療・薬配送

- 民間技術者（Code for Fukui等）と協働してシステム開発
- 令和4年度、へき地オンライン診療を実証

16 デジタルの取組⑤

チームふくいのDX推進を支援

DXラボ開設

企業向けの事例共有・専門家派遣



ITスクール開講

人材育成・就職支援



デバイス対応

スマホ教室・ふく割導入支援



17 県内産業におけるデジタル活用①

紙のデータ化・業務プロセスのデジタル化に取り組む

宿泊業 (Digitize)

紙帳票からデータによるタブレット閲覧へ

清掃の割振票、清掃指示書、部屋の点検シート等をデータ化



- 持ち運び容易、最新の情報で作業 (手間・手戻り減少)
- 帳票の保管・検索が容易に (管理業務の生産性向上)
- 口伝えの曖昧さなく作業 (正確な実務遂行)

小売業 (Digitalize)

AI を活用した自動会計システム導入

多種多様な惣菜の種類認識・重量計測・レジ手打ちを自動化



- ホールスタッフの省力化 (人件費減少)
〔 複雑な運用・繁忙負担による離職・人為ミス改善
スタッフの教育及び募集に係るコスト削減 〕
- 節約時間の別作業への転用 (迅速な補充による売上増)
- お客様の待ち時間縮小 (顧客満足の上昇)

18 県内産業におけるデジタル活用②

事業全体の最適化の取組みや新事業領域への進出も

福井市 製造小売業 (DX)

来店客予測を用いた業務横断での最適化

45日先・2時間毎の来店客数をA Iで予測



90%程度のA I精度

- 適正人員配置による有給休暇取得増
- 商品発注の精度向上による在庫削減・売り逃し改善
- 客数の見える化による店舗スタッフの意識向上

鯖江市 製造業 (DX)

自社技術を外販する形での新事業展開

自社製品設計から
3 D C Gモデルやバーチャル環境の提供へビジネスを拡張



- 自社技術の強みと顧客コミュニケーション向上を目指した結果、新事業を考案
(3DやARをSaaS利用可能なシステムやEC支援サービス等提供)